

第4回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議について

(健康福祉部医療健康局)

1 要旨

令和2年7月21日、「第4回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を開催し、県の新型コロナウイルス感染流行期（フェーズ）の移行及び県内初のクラスター発生を踏まえた今後の対策について、専門家の御意見を伺った。

2 議事内容

(1) 新型コロナウイルス感染流行期（フェーズ）の移動について

- ・7月に入ってからの感染者増加に対して、感染流行期（フェーズ）のシフトアップを行うべきか
- ・「感染移行期前期」に移行する場合、県全体で移動すべきか、感染症の発生者が多い県東部のみで移動すべきか

——→ 本県全体で感染移行期前期に移行する

【委員からの御意見】

- 県民目線では東部のみ患者が急増しているが、医療従事者の視点からは患者を中西部の医療機関でも受入れることになるので、その意味からも全県でシフトアップすべき
- 県全体で移行させ、県東部を中心に、業種や職種によって注意喚起等のメッセージを付帯事項とすべき
- 熱海の患者の状況を詳細に観察すると、高齢者が多く東京とは事情が異なる。重症患者のための病床や医療体制を確保すべき
- 軽症者については、なるべく早く軽症者用のホテルで受け入れし、医療機関では中重症患者を重点的に受け入れする仕組みを

(2) 県内初のクラスター発生を踏まえた今後の対策

- ・夜の街の接待を伴う飲食店の感染対策指導で不特定多数の者が利用した。店名公表の同意が得られない場合の対応や、夜の街のお店の従業員へのPCR検査等、各種対策について伺う

【委員からの御意見】

- 公表することは訪れた客を早期に把握することが可能となるため有益な情報となる
- 店舗ではあらかじめ、その日の顧客リストを作成しておけば濃厚接触者が把握可能
- 夜の街のお店の従業員へのPCR検査については、検体採取時点での結果しか検出できないため、効果が薄いと考える

熱海市のカラオケ・クラスター関連感染者状況 7月21日時点

(数字は県公表例数番号)

